

ウェルウォーク通信

～WW-2000 体幹支持ハーネスの組み直し方法～

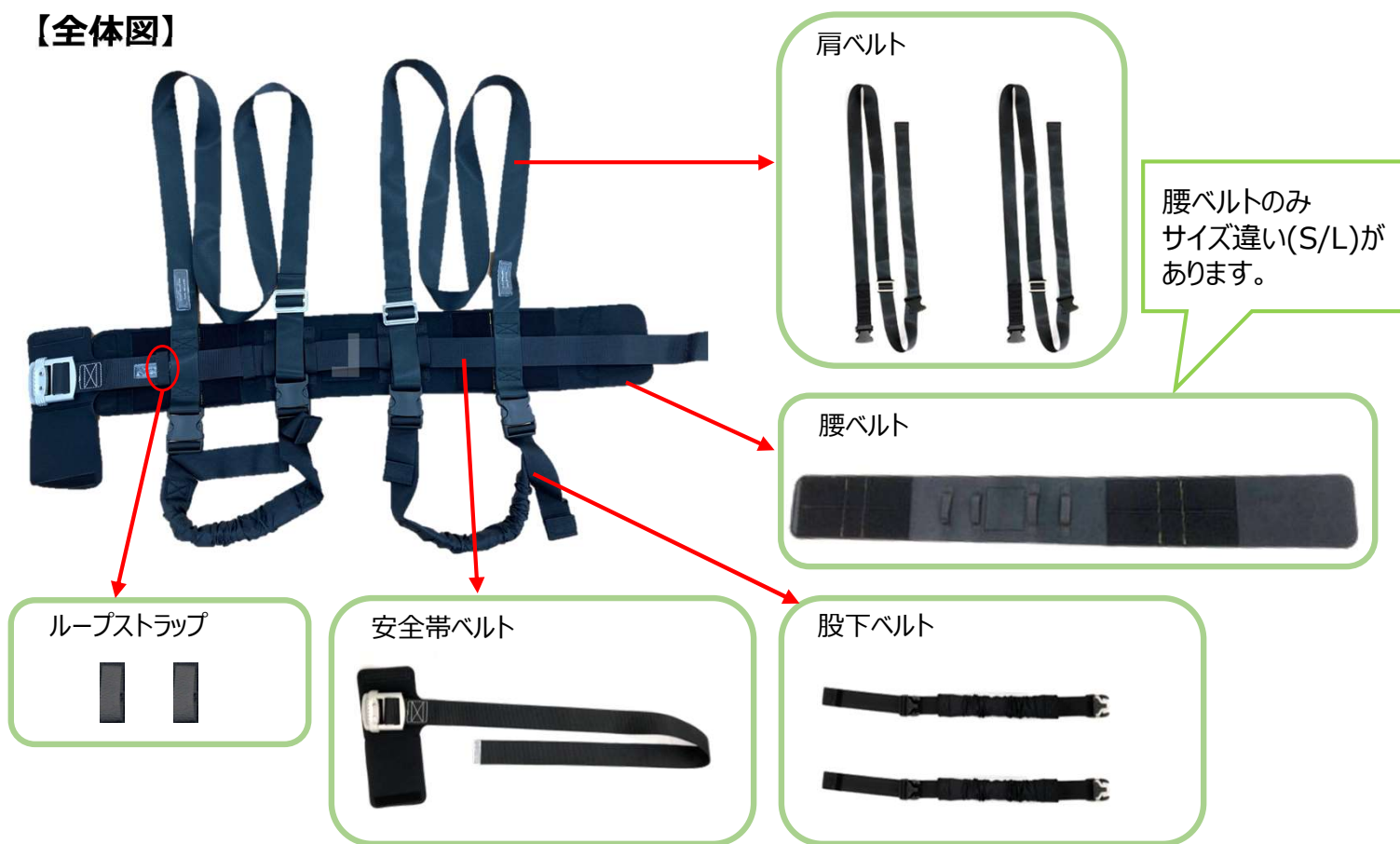
日頃はウェルウォーク（以降、WW）をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

今回は、『WW-2000 体幹支持ハーネスの構成』についてご案内致します。

こちら、WW-2000を活用頂いている先生から、「一度バラバラになると直すのが大変！」という困り事を何件か頂きましたので、WW通信として取り上げさせて頂きました。

◆体幹支持ハーネス構成

【全体図】



【保管時の工夫ポイント】

バラバラになる原因として、装具箱から取り出す際に、面ファスナーと他の構成部品がくっつき外れてしまうことがあります。保管の際に、他の構成部品と面ファスナーがくっつきにくくなる対策案をご紹介します。

①ハンガーに吊るして保管

たたむ必要が無く、肩ベルトをハンガーに吊ると出し入れしやすくお勧めです。

②腰ベルトのサイズ表記（S/L）を表面になるようにたたむ

サイズ表記（S/L）を真ん中として、内側に三つ折りにすることで、面ファスナーが内側になり、他の構成部品とくっつきにくくなります。

①吊るして保管の例



②折りたたんで保管



◆体幹支持ハーネスの組み直し方法

1. 腰ベルトのサイズ表記（S/L）が裏面になるように置いてください。
この時、腰ベルトの左端裏面が面ファスナーになっていることを確認してください。
下図の様に肩ベルトを腰ベルトにセットしてください。
※ベルトにねじれが無いようにご注意ください。

黄色の縫製線の内側に
面ファスナーに貼り付け

肩ベルトの金属バックル側を
腰ベルトの内側に置く

黄色の縫製線の内側に
面ファスナーに貼り付け



2. 肩ベルトの両脇の位置に、ループストラップを置いてください。

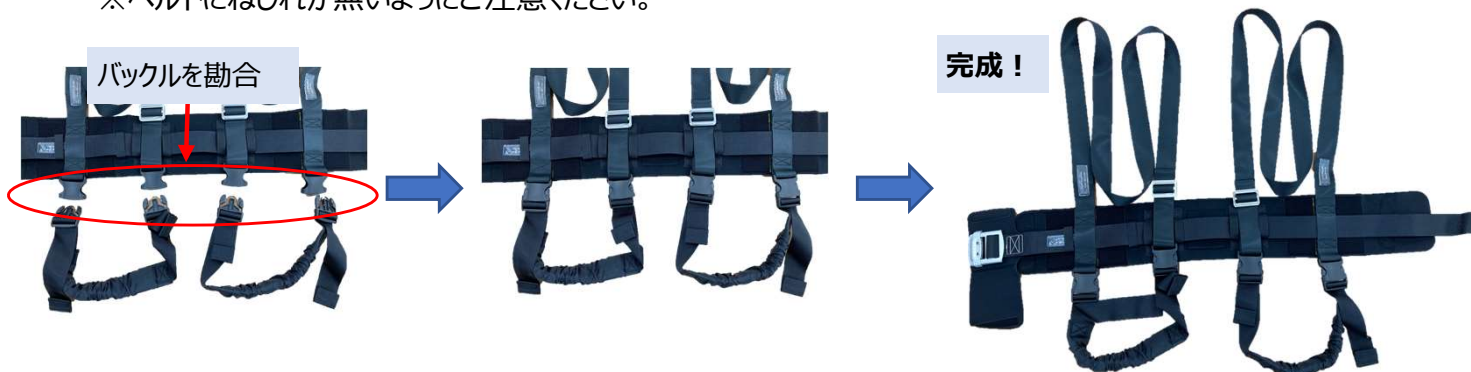


左側の肩ベルトにのみ
ループストラップを置く

3. 安全帯ベルトをセットしたループストラップと肩ベルトの輪に順番に通してください。



4. 股下ベルトを肩ベルトの下側のバックルに勘合させてください。
※ベルトにねじれが無いようにご注意ください。



ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>